機能ＩＤ	項番	枝番	機能名称	機能要件	実装区分	適合基準日
0160094	1.8.2.	3		＜ログの分析＞ システムの利用者及び管理者のログについては、以下の分析例の観点等から分析・ファイル出力ができること（ＩａａＳ事業者がログについての責任を負っている場合等、パッケージベンダ自体がログを提供できない場合は、ＩａａＳ事業者と協議する等により、何らかの形で本機能が市区町村に提供されるようにすること）。 [分析例] ・深夜・休業日におけるアクセス一覧 ・ログイン失敗一覧 ・ＩＤ別ログイン数一覧 ・大量検索実行一覧 ・宛名番号等から該当者の検索実行一覧	実装必須機能	令和８年４月１日
0160095	1.8.3.		保存年限	法令年限及び業務上必要な期間（保存期間）を経過した情報について、標準準拠システムから物理削除できること。 個人番号利用事務においては、保存期間を経過した場合には、個人番号及び関連情報を標準準拠システムから削除できること。 保存期間は、各地方公共団体が任意で指定できること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0160096	1.8.4.	1	操作権限管理	システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でＩＤ及び パスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（異動処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。 職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。 操作者ＩＤとパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。 アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。 アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。 アクセス権限の付与も含めたユーザ情報の登録・変更・削除はスケジューラ―に設定する等、事前に準備ができること。 また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。 他の職員が異動処理を行っている間は、同一住民の情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。 なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0160097	1.8.4.	2		パスワードによる認証に加え、ＩＣカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。 複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0160098	1.8.4.	3		組織・職務・職位等での操作権限を設定できること。 操作権限一覧表で操作権限が設定できること。	標準オプション機能	
0160099	1.8.4.	4		認証に当たっては、シングル・サイン・オンが使用できること。	標準オプション機能	
0160100	1.8.5.	1	ヘルプ機能	システムの操作方法や運用方法等について、オンラインマニュアルを有していること。 また、ヘルプ機能として、操作画面上から、当該画面の機能説明・操作方法等が確認できるオンラインマニュアル（画面上に表示されるマニュアル類）が提供されること。	実装必須機能	令和８年４月１日
0160101	1.8.5.	2		システムの操作方法や運用方法等について、冊子のマニュアルを有していること。	標準オプション機能	